出題趣旨・採点基準（小論文）配点 200 点

小論文試験は、デモクラシーと戦争との関係に関する文章を読解して長文の作成を求めるものである。問１、問２に共通して、⑴日本語の表現力を問うているほか、内容的に、問１では、⑵文章を正確に理解し、⑶著者が主張する内容についてその意味内容を理解した上で的確にまとめることができることを問い、問２では、⑵著者の主張を整理・検討し、⑶それを踏まえて自らの見解につき理由を挙げて論理的に提示することを問うている。以上によって、法科大学院での履修の前提として要求される論理的思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかを判定した。